ごあいさつ

滋賀県南部に位置する栗東市を含めた旧栗太郡一帯は、豊かな宗教文化が花開いた地域として知られています。その中心の1つに、栗東市南部の金勝山に建つ金勝寺があります。金勝寺は、聖武天皇の勅願を受けた東大寺初代別当・良弁僧正（689～774）により、平城京の鬼門（東北）を守る国家鎮護の祈願寺として、奈良時代前期に開かれたとされ、平安時代はじめの弘仁年間（810～24）には興福寺の僧・願安によって伽藍が整備されたと伝わります。以後、興福寺にゆかりの深い寺院として、湖南から湖東にかけて大きな求心力を持った金勝寺が1つの核となり、周辺地域に「金勝寺文化圏」とも称される宗教文化が花開いていくこととなりました。令和5年（2023）は、金勝寺を開いた僧・良弁僧正の没後1250年の記念の年（1250年御遠忌）にあたります。この展覧会では、良弁僧正1250年御遠忌によせて、収蔵資料から、栗東に花開いた宗教文化について紹介します。

令和 5年 9月16日
栗東歴史民俗博物館

凡例の◎は重要文化財、△は県指定文化財、□は市指定文化財

凡例	資料名	員数	年代	所蔵者等
□	木造阿弥陀如来立像（天照仏）	1 軀	平安時代	阿弥陀寺（栗東市東坂）
□	木造男神坐像	5 軀	平安時代	金勝寺（栗東市荒張）
□	木造僧形神坐像	2 軀	平安時代	金勝寺（栗東市荒張）
◎	木造男神坐像（伝落別命）	1 軀	平安時代	小槻大社（栗東市下戸山）
◎	木造男神坐像（伝大己貴命）	1 軀	平安時代	小槻大社（栗東市下戸山）
△	木造狛犬	1 対	鎌倉時代（元享年間・1321～24）	大宝神社（栗東市鱈）
	随神像	1 軀	南北朝～室町時代	栗東市蜂屋 三体講
	【旧善勝寺伝来資料】木造毘沙門天立像	1 軀	平安時代	阿弥陀寺（栗東市東坂）
	【旧善勝寺伝来資料】木造地藏菩薩立像	1 軀	平安時代	阿弥陀寺（栗東市東坂）
	【旧善勝寺伝来資料】木造地藏菩薩半跏像	1 軀	平安時代	阿弥陀寺（栗東市東坂）
□	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	鎌倉時代	佛眼寺（栗東市鱈）
□	木造聖観音菩薩立像	1 軀	鎌倉時代	萬年寺（栗東市小野）
	【旧善勝寺伝来資料】木造阿弥陀如来立像及び両脇侍立像	3 軀	阿弥陀如来立像：南北朝時代 両脇侍立像：造立年代不詳	阿弥陀寺（栗東市東坂）
	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	江戸時代	成谷寺（栗東市荒張）
	木造不動明王立像	1 軀	江戸時代	成谷寺（栗東市荒張）
	木造大黒天坐像	1 軀	江戸時代	成谷寺（栗東市荒張）
□	木造天部形立像	1 軀	平安時代	春日神社（東近江市小八木町）
◎	木造毘沙門天立像	1 軀	平安時代	西遊寺（草津市木川町）
通史展示「栗東の歴史と民俗」（第1展示室内）				
	親鸞聖人像	1 幅	明応2年（1493）裏書	真宗大谷派安養寺（栗東市安養寺）
	六字名号（蓮如筆）	1 幅	室町時代	真宗大谷派安養寺（栗東市安養寺）
	方便法身尊像（教如裏書）	1 幅	室町時代・慶長11年（1606）裏書	教願寺（栗東市御園）
	方便法身尊像（実如裏書）	1 幅	明応2年（1493）裏書	真宗大谷派安養寺（栗東市安養寺）
	方便法身尊像（実如裏書）	1 幅	永正14年（1517）裏書	正覚寺（栗東市辻）
	方便法身尊像（実如裏書）	1 幅	明応7年（1498）裏書	永久寺（栗東市蜂屋）
△	【旧山口寺伝来資料】木造天部形立像	1 軀分	平安時代	金勝寺（栗東市荒張）
△	【旧山口寺伝来資料】木造四天王立像	2 軀	平安時代	金勝寺（栗東市荒張）
△	木造店目天立像	1 軀	平安時代	栗東市荒張 大通寺保存会
スポット展示（ロビー）				
◎	木造十一面観音立像	1 軀	平安時代	円満寺（近江八幡市多賀町）

【関連企画】

○展示解説会：9月18日（敬老の日）、9月23日（秋分の日）、10月9日（スポーツの日）、
11月3日（文化の日）、11月23日（勤労感謝の日） いずれも14時から（1時間程度）